

オプトアウト登録用紙

① 研究課題名

スマートグラスは何を共有しているのか
—看護技術教育における視野特性と実践共有の検討—

② 研究母体

独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター附属看護学校

③ 研究目的

看護技術教育においてスマートグラスが共有している情報の特徴を、人間視野および表示視野の観点から検討する

④ 利用・または提供する資料・情報の項目

探索研究に用いる文献は以下のとおり

Peripheral vision in real-world tasks: A systematic review

(実世界課題における周辺視野: システマティックレビュー)

Utility of Optical See-Through Head Mounted Displays in Augmented Reality-Assisted Surgery

(AR 支援手術における光学透過型 HMD の有用性: システマティックレビュー)

Application of head-mounted display-based augmented and mixed reality in nursing education: a scoping review (看護教育における HMD 型 AR/MR 応用: スコーピングレビュー)

Binocular visual field in adults with horizontal strabismus and driving requirements

(水平斜視成人の両眼視野と運転要件)

藤井光輝, 他. リアルタイムで看護師・患者 360 度視点で看護技術の疑似体験及び教材作成のできるシステム開発及び運用・評価 厚生労働省 デジタルトランスフォーメーション促進事業

藤井光輝, 他. スマートグラスを活用した術後患者観察技術演習に関する研究.

藤井光輝, 他. スマートグラスを活用した看護技術講義に関する研究.

藤井光輝, 他. 看護師視点を疑似体験 絶対に身につく看護技術. プチナース. 2025;34(7):16-32.

⑤ 研究方法

○研究デザイン

著者らの先行研究結果および教育実践資料と文献検討を組み合わせた探索的研究である。

○分析対象

分析対象は、著者らによるスマートグラスを活用した術後患者観察演習、看護技術講義、教育実践記事、DX 推進事業に関する論文・雑誌記事、および人間視野とスマートグラス表示視野に関する先行文献とする。

○使用機器

使用機器は Vuzix M400 とした。Vuzix M400 は片眼型スマートグラスであり、対角表示視野は約 16.8° である。また、1280×720 表示および外部 2K 出力に対応している。

○分析方法

著者らの先行研究および教育実践で得られていた学生評価、自由記述内容、授業実践内容を整理する。さらに、人間視野および表示視野に関する先行文献を用いて、看護技術教育において共有されている情報の特徴を検討する。

⑥ 研究期間

令和 8 年 5 月～令和 8 年 8 月

⑦ 資料・情報の管理について責任を有する者（研究責任者・研究代表者）

所属 独立行政法人国立病院機構浜田医療センター附属看護学校

氏名 藤井光輝

連絡先 0855-28-7788 hatanaka.miho.bc@mail.hosp.go.jp